

(2016. 6. 3)

★★★ 日本プロテオーム学会 (JPrOS/JHUP0) 学会通信第 239 号 ★★★

■■■ 第 43 回 BMS (Biological Mass Spectrometry) 研究会のご案内 ■■■
■■■ 「生命科学を牽引する質量分析の最前線 ～医薬・医療への応用に向けて～」 ■■■

日本プロテオーム学会会員の皆様

日本質量分析学会の小川覚之先生より第 43 回 BMS (Biological Mass Spectrometry) コンファレンスのご案内が届きましたのでお知らせいたします。

日本プロテオーム学会事務局
北里大学 小寺義男

=====

第 43 回 BMS コンファレンス熱海のお知らせ

今年の BMS コンファレンスは 7 月 4 日 (月) - 6 日 (水) の日程で、ホテルニューアカオ (静岡県熱海市) で開催いたします。

今回は「生命科学を牽引する質量分析の最前線 - 医薬・医療への応用に向けて -」として講演、討論を行います。基調講演 (永井美之先生 / 理化学研究所顧問・東京大学名誉教授)、特別講演 (小田吉哉先生 / エーザイ株式会社) をはじめ総勢 25 名の著名な先生方に 5 つのテーマセッションでご講演いただく予定です。また、生体試料を対象とした質量分析基礎講座、企業による新技術紹介、ポスターセッションも開催します。

プログラムを是非ご覧ください (このメールの下に記載しています)。

参加申込みの締切りを 6 月 14 日 (火) に延長いたしました。
皆様のご参加をお待ちしております。

詳細は第 43 回 BMS コンファレンスの HP をご覧ください。
<http://www.mssj.jp/society/branch/bms/bms43.html>

第 43 回 BMS コンファレンス実行委員一同
(実行委員長: 絹見 朋也 (産総研))

お問い合わせ:
bms2016-desk@mssj.jp
BMS2016 実行委員会

プログラム

【基調講演】

永井 美之（理化学研究所研究顧問、東京大学名誉教授、名古屋大学名誉教授）

「国境なき感染症にそなえる知のネットワーク J-GRID 10年の歩み」

【特別講演】

小田 吉哉（エーザイ株式会社）

「創薬におけるバイオマーカーの役割」

【質量分析基礎講座】

阿久津 弘明（旭川医科大学）

「質量分析の基礎の基礎」

笠間 健嗣（東京工業大学）

「タンパク質解析・メタボローム解析 ー依頼分析する側の日々」

【テーマセッション】

<MSの医療応用>

足立 淳（医薬基盤・健康・栄養研究所）

「バイオマーカー・コンパニオンマーカー開発のためのプロテオミクス基盤技術開発」

有田 誠（理化学研究所）

「リポクオリティから解き明かす病態・バイオロジー研究」

野村 文夫（千葉大学）

「マスマスペクトロメトリーにより大きく変貌する臨床検査 ー現状と課題ー」

竹田 扇（山梨大学）

「質量分析から医療機器への道程」

<MSを生かす前処理技術>

馬場 健史（九州大学）

「メタボローム解析における試料調製」

安藤 孝（食の安全分析センター）

「MSの進化がもたらした残留農薬分析前処理の簡略化」

吉田 優（神戸大学）

「メタボロミクスによる早期大腸癌スクリーニングシステムの開発」

小寺 義男（北里大学）

「様々な前処理技術を用いた血漿プロテオミクス・ペプチドミクス」

<薬物動態>

佐野 善寿（株式会社サンプラネット）

「薬物動態とMS: Overview」

只野 純（大日本住友製薬株式会社）

「イメージング質量分析法の創薬研究への応用」

西宮 一尋（中外製薬株式会社）

「ADC (Antibody-Drug Conjugate) 測定とその解釈
—Kadcyla (T-DM1) を例として」

清水 敦司（大鵬薬品工業株式会社）

「イオンモビリティを利用した代謝部位同定に関する提案」

<バイオ医薬品>

有坂 文雄（日本大学、東京工業大学名誉教授）

「超遠心分析および静的光散乱法を用いた蛋白質の性状及び相互作用解析」

津本 浩平（東京大学）

「蛋白質相互作用の物理化学解析と創薬」

吉田 麻希（中外製薬工業株式会社）

「抗体医薬品の品質特性解析における minor modification 評価」

天野 正人（第一三共株式会社）

「質量分析によるバイオ医薬品開発候補品の初期物性評価」

<MS のフロンティア>

小椋 康光（千葉大学）

「質量分析法を基盤としたセレノメタボローム解析」

川村 猛（東京大学）

「エピゲノム創薬と質量分析」

鈴木 仁（東京都健康安全研究センター）

「東京都における危険ドラッグの分析 — 流行の推移や分析時の注意点」

津川 裕司（理化学研究所）

「低分子化合物網羅的解析のためのデータ処理・同定技術の開発」

福田 真嗣（慶應義塾大学）

「メタボロゲノミクスによる腸内細菌叢の機能理解とその制御」

[From: info@jhupo.org](mailto:info@jhupo.org)